

ぼくのかぞくへ

ぼくは、コロナになりました。



コロナのびょうきは、こわいので、みんなにうつらないように一人のへやでいました。

となりのへやからいもとやおとうとめたのしろうおこえがきこえてきたらさみしいきもちになりました。



こえがきこえてもふれあえなくてさみしい。

おもろとか「いい」とあいたいとないた。

ないたのをきいて、ほくもないた。★



いつもしんかをするしどしはなれてたら

さみしい。いっしょにあそびたくなる。

コロナはつらい。でも、おとうとか「はやくなおって

と 言ってくれてうれしかった。

お母が手が「み」を書いてくれてうれしかった。



おなかがいたいときママが「おなか」をさあてくれてうれしかった。★

パパが「たいしょが」取っさか「うた」るときいてくれてうれしかった。



みんな ありがとう。うれしかったよ。